









## 調査意見書

受理番号 107-26		学校 高等学校		教科 数学		種目 数学B		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定			
	ページ	行							
1	28	5 - 6	等比数列の公比 $r$ を等式の両辺に掛け	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの等式に対する操作なのか分からない。)	3-(3)				
2	28	13	両辺の差をとる	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの辺とどの辺の差をとる操作なのか分からない。)	3-(3)				
3	90	22 - 23	対立仮説が成り立つ。 他に、92ページ18-19行、94ページ21行	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (対立仮説が真であると誤解するおそれがある。)	3-(3)				
4	113	2 - 9	$\square 1$	学習上の支障を生ずるおそれがある。 ( $n$ の条件が示されていないため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
5	116	15 左	「p. 76 節末問題」のProgress (1)の解答における「 $i=$ 」	生徒にとって理解し難い解答である。 ( $i$ が何か分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 107-27		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	95	9 - 20	応用例題2の解 他に、121ページ10-18行の例題1の解	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (93ページの16行目の仮説検定の□1に対立仮説をたてる ことが明記されているが、例題の解にはなく、仮説検定の 手順の進め方が分からないおそれがある。)	2-(1)		
2	103	22	ただし、 $1.05^6 \approx 1.340$ とする。	生徒にとって理解し難い ただし書きである。 (年利率3%の練習問題においてどのように利用する のか分からない。)	3-(3)		
3	124	10 - 11 左	「1章数列 1節CHECK…p. 18」の□4(1) の解答	誤りである。	3-(1)		
4	126	28 左	「2章確率分布と統計的な推測 3節 CHECK…p. 96」の□17の解答	誤りである。	3-(1)		
5	126	6 右	「2章確率分布と統計的な推測 章末問 題A…p. 97」の■1(3) $V(2X-Y)=19/4$	誤りである。	3-(1)		
6	126	7 右	「2章確率分布と統計的な推測 章末問 題A…p. 97」の■2の解答	誤りである。	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 107-28		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	26	側注	10行右の側注における「2, 3, 5, 8, 12……」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「12……」が何か分からない。)	3-(3)		
2	27	2	前ページのもとの数列	生徒にとって理解し難い表現である。 (「もとの数列」がどの数列なのか分からない。)	3-(3)		
3	30	20 - 21	等差数列と等比数列は、漸化式を使ってそれぞれ次のように表すことができる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (数列を漸化式のみで表すことができると誤解するおそれがある。)	3-(3)		
4	73	側注	19行右の側注における「対立仮説が成り立つ。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (対立仮説が真であると誤解するおそれがある。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 107-29		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	表紙	2 - 4	第1節 数列 第2節 確率分布と統計的な推測 第3節 数学と社会生活	相互に矛盾している。 (本文の章立てに照らして)	3-(1)	
2	2	23 右	□研究>母平均・母比率の推定…98	相互に矛盾している。 (98ページ1行目の表題に照らして)	3-(1)	
3	3	13 左	復号化 他に、120ページ右上図、6、14、18、 20行、121ページ20、23行、122ページ 右上図、8、10、11、13、19-20行、 123ページ1行、124ページ1、2、14行	不正確である。	3-(1)	
			, 140ページ中段34行			
4	18	6 - 10	1年後の借り入れ残高は、 $2500(1+r)-100$ (万円) ……① ①に利子を加えた金額が元金で、100 万円返済するから、 2年後の借り入れ残高は、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「借り入れ残高」の計算方法として)	3-(3)	
			$\{2500(1+r)-100\}(1+r)-100$ 他に、12-13行「3年後の借り入れ残高 は、 $\{2500(1+r)^2-100(1+r)-100\}$ $(1+r)-100$ 」、16-17行「n年後の借り 入れ残高は、 $2500(1+r)^n-100(1+r)^n$			
			$\{n-1\}-100(1+r)^{n-2}-\dots-100$			
5	25	側注	17-19行右の囲み	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの式のn=1のときに対する説明なのか分からない。)	3-(3)	
6	45	15 - 16	前ページにおいて $\alpha=1$ のとき、②は、 ～となる。	生徒にとって理解し難い式番号である。 (前ページの②かこのページの②か分からない。)	3-(3)	
7	53	6	その平均の近くに集中する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何の平均の近くに何が集中するのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 107-29		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
8	63	8	これはその逆も成り立つ。	不正確である。 (成り立つための条件が欠けている。)	3-(1)		
9	75	グラフ	右上の折れ線グラフ	不正確である。 ( $n=10, r=0$ の値等)	3-(1)		
10	77	17 - 18	身長分布は正規分布に従う	生徒にとって理解し難い表現である。 (分布は分布に従うとはどういうことか分からない。)	3-(3)		
11	123	5	2つの整数 $a, b$ を、それぞれ自然数 $m$ で割った余りが等しいとき、	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (負の整数を割ったときの余りについて説明がないため、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)		
12	123	19	互いに素	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (説明がないため、合同式の性質が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)		
13	136	18 右	「第2章確率分布と統計的な推測 第1節 節末問題(67ページ)」の■3(2) 分散 $-5/4$	誤りである。	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 107-30		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	5	図	左の「乱数さいなどのシミュレーションができる」の図における「20面サイコロを降って」	誤記である。	3-(2)	
2	57	6	その期待値の近くに集中する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何の期待値の近くに何が集中するのか分からない。)	3-(3)	
3	69	グラフ	左下の折れ線グラフ	不正確である。 (右の表の数値と対応していない。)	3-(1)	
4	73	21	x軸と $y=f(x)$ の間の面積	生徒にとって理解し難い表現である。 (式と図形を混同している。)	3-(3)	
5	80	21 - 22	身長分布は正規分布に従う	生徒にとって理解し難い表現である。 (分布は分布に従うとはどういうことか分からない。)	3-(3)	
6	121	6	復号化 他に、右上図、15, 19, 21行、122ページ21, 24行、123ページ右上図、9, 11, 12, 14行、147ページ中段24行	不正確である。	3-(1)	
7	132	17 - 18	問1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (2次元コード先の内容を参照しなければ解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
8	142	23 右	第3節 確認問題99ページ③の解答 [0.0400, 0.060]	不正確である。	3-(1)	
9	143	26 右	探Q広場(課題学習)103~104ページ	誤りである。 (104ページに探Q広場はない。)	3-(1)	
10	145	8 左	「第1節 確率分布」の問2の解答	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 調査意見書

受理番号 107-31		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	3	図	左の図の説明の「乱数さいを降って」他に、右の図の「20面サイコロを降って」	誤記である。	3-(2)		
2	55	5 - 6	その期待値の近くに集中する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何の期待値の近くに何が集中するのか分からない。)	3-(3)		
3	67	グラフ	左下の折れ線グラフ	不正確である。 (右の表の数値と対応していない。)	3-(1)		
4	71	21	x軸と $y=f(x)$ の間の面積	不正確である。 (式と図形を混同している。)	3-(1)		
5	78	17 - 18	身長分布は正規分布に従う	生徒にとって理解し難い表現である。 (分布は分布に従うとはどういうことか分からない。)	3-(3)		
6	119	6	復号化 他に、右上図, 15, 19, 20-21行, 120 ページ20, 23行, 121ページ右上図, 9 , 11, 12, 14行, 131ページ中段29行	不正確である。	3-(1)		
7	II	8 左	$E(X^-)=m$	生徒にとって理解し難い表現である。 ( $X^-$ の説明がない。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 107-32		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	5	図	13行の表の上部にある矢印図に付された「+0.5%」（3箇所）	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がないので分からない。）	3-(3)		
2	35 - 37		2 数学的帰納法（全体）	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 （内容(1)のイの(ウ)の「他の証明方法と比較し多面的に考察すること。」に照らして、扱いが不適切である。）	2-(1)		
3	42	14	図1 他に、18行	学習上の支障を生ずるおそれがある。 （図1がないため解答できないという支障を生ずるおそれがある。）	2-(1)		
4	59	21	右のグラフの斜線部分	生徒にとって理解し難い表現である。 （61ページ3行の表現とどのように使い分けているのか分からない。）	3-(3)		
5	62	23	$P(-1 \leq Z \leq 1) = 0.6827$	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （正規分布表を利用して求めた値であるかのように誤解するおそれがある。）	3-(3)		
6	73	12 - 13	nが大きくなると正規分布（2.2, 1.36/n）に近づいていくことがわかる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （どのような前提で考えているのか分からない。）	3-(3)		
7	79	2 - 22	ある1枚のコインS_1がある。～「コインS_2は表と裏の出る確率が等しくない」と考えられる。 他に、81ページ1-17行「例15」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 （対立仮説とその後の考察との対応が適切でなく、学習内容を理解できないという支障を生ずるおそれがある。）	2-(1)		
8	84	図	右上の図における「t=」	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がないので分からない。）	3-(3)		
9	109	17	□7	学習上の支障を生ずるおそれがある。 （公比が分からないため、等比数列の漸化式を求めることができないという支障を生ずるおそれがある。）	2-(1)		
10	113	8 右	● 1節の確認問題（58ページ）	誤りである。 （58ページに1節の確認問題はない。）	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 107-33		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	41	19 - 20	この漸化式から、39ページにある方法で数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めることもできる。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (39ページにある方法は、一律には学習しない他の「発展」にあり、どのようにして求めることができるのか理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)		
2	47	20 - 21	nを3で割ったときの余りで分類	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのように分類するのか説明がないので分からない。)	3-(3)		
3	145	10	$y=0.01x^2-0.23x-0.11$	相互に矛盾している。 ([2]のグラフと不対応)	3-(1)		
4	後1	図	17行下のn=2, 4, 8, 16の図	生徒にとって理解し難い図である。 (どのような設定でヒストグラムをかいたのか分からない。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 調査意見書

受理番号 107-34		学校 高等学校		教科 数学	種目 数学B	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	23	22	10年間	誤りである。	3-(1)		
2	49	23	nを3で割ったときの余りで分類	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのように分類するのか説明がないので分からない。)	3-(3)		
3	109	図	右下の図における引き出し線	生徒にとって理解し難い引き出し線である。 (どのような意味で用いられているのか分からない。)	3-(3)		
4	158	21 - 22	最初のn項は初項1, 公比2, 項数nの等比数列の和である	生徒にとって理解し難い表現である。 (数列の項と和をどのような意味で用いているのか分からない。)	3-(3)		
5	後見返し1	図	n=2, 4, 8, 16の図	生徒にとって理解し難い図である。 (どのような設定でヒストグラムをかいたのか分からない。)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

# 調 査 意 見 書

受理番号 107-35		学校 高等学校	教科 数学	種目 数学B	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	49	13 - 14	「章末問題A」の5	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (無限数列になっているため、数列の和を求められないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
2	94	図	5行と6行の間にある $n=4, 8, 16, 32$ の図に描かれた曲線	生徒にとって理解し難い図である。 (どのような曲線が描かれているのか説明がないので分からない。)	3-(3)	
3	143	10	$y=0.01x^2-0.23x-0.11$	相互に矛盾している。 ([2]のグラフと不対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。







